

令和 7 年愛知県柔道整復師連盟総会

3月1日(日)9時30分より、本会3階講堂にて令和7年愛知県柔道整復師連盟総会が開催された。

議長、副議長には、大曾根支部の大口 明良委員と刈谷支部の竹内 健二委員が選任され、当日の参加者数は3月1日現在、会員数652名に対し、出席者数45名、委任状提出者数436名の合計481名であり、過半数326名を優に超えているとし、総会の成立が宣言された。

続いて、以下5議案について各担当責任者や監事より説明があり、賛成多数にて承認された。また一宮支部の浅野 加津彦会員からの質問状に対し藤川委員長からの回答があった後、石川副委員長の閉会の辞にて無事終了した。

第1号議案 令和7年分愛知県柔道整復師連盟事業報告承認の件

[松田 吉弘総務担当責任者より説明]

第2号議案 令和7年分愛知県柔道整復師連盟収支決算書承認の件

[石田 真由美会計担当責任者より説明]

第3号議案 監査報告

[山口 敬史監事より説明]

第4号議案 令和8年分愛知県柔道整復師連盟事業計画(案)承認の件

[松田総務担当責任者より説明]

第5号議案 令和8年分愛知県柔道整復師連盟収支予算書(案)承認の件

[石田会計担当責任者より説明]

(広報部)



第37回機能訓練指導員実務研修会

第21回機能訓練指導員フォローアップ講習会

第103回会員研修会・第21回県民公開講座

3月1日(日)、本会3階講堂での愛整連盟総会に引き続き、10時30分から11時30分まで、第37回機能訓練指導員実務研修会・第21回機能訓練指導員フォローアップ講習会・第103回会員研修会・第21回県民公開講座が開催された。今回は当会介護部 機能訓練研修委員の平山 貴博会員(笠寺支部)が「訪問型C実施時の各計測方法の統一について」と題して講演を行った。

倉橋介護部長の司会進行の下、会の冒頭、藤川会長より連盟総会が無事終了したことが報告され、「今日の研修会では、そういう対象者が来た時に、どのような測定器で、どのような測定をして、どのようなデータ集積をしていくか、やはりそういうものがなければ話にならない。全てがエビデンス、根拠がなければ次の話に進まない。よって、統一感を持った計測方法、記録方法等々をしっかりと皆さん方に覚えていただけて参画をしていただくということが第一条件になってくるので、今後数回にかけてこのような研修会を開催していこうと考えている。是非この機会を逃さずに参入をしていただきたい」と挨拶を述べた。

続く平山会員の講演は、短期集中予防型訪問サービス(訪問型サービスC)を提供する際に行うアセスメント(体力測定)の測定手順と評価方法を愛整会として統一し、正確なデータを蓄積していこうというものであった。今回は、その中の体力測定6項目(握力テスト、長座位体前屈テスト、椅子座位体前屈テスト、指床間距離テスト、開眼片足立ちテスト、5回立ち上がりテスト)とHDS-Rテスト、K6テストの実施方法や実際の書類の記載方法、高齢者特有の注意点などについて、介護部員の実演を交えた内容であった。統一した計測方法が必要な理由として、信憑性の高いデータを収集することで、訪問型Cが高齢者にとって有益なものであるという証明になると述べた。

(広報部)

